

ESD車座トーク

# ジオパーク×ESD

2018.6.17(日)

定員  
30名

■15:00-17:00 ESD車座トーク(参加費:無料)

■17:15-19:00 懇親会(参加費:3,000円)

会場: 日能研ビル6F(東京都荒川区西日暮里5-38-5)

**対象** ジオパーク×ESDに興味がある方、  
伊豆半島ジオパークについて知りたい方はどなたでも参加できます

**申込方法** 下記URLにアクセスし、フォームに記入をお願いします  
URL: <https://goo.gl/pgaqgE>

今年4月、「伊豆半島ジオパーク」が世界ジオパークに認定されました。  
ジオパークは地域の自然や人材を活用した持続可能な地域社会づくりに取り組むプログラムの1つです。

ESDではこれまで様々なテーマや手法で持続可能な社会について学びイメージしてきました。  
地域における持続可能な開発の具体的な事例としてジオパークが参考になると考えられます。

そこで、伊豆半島ジオパークの事例を聞き、持続可能な開発の取り組みの現状と課題を具体的に  
知るとともに、ジオパークの見方・考え方で取り組みを進めているジオパークのESDについて学び、今後の  
取り組みの参考にしたいと思います。



## テーマ1 「ジオパークの概要と伊豆半島ジオパークについて」

鈴木 雄介(伊豆半島ジオパーク推進協議会 専任研究員)

静岡県三島市出身。火山地質・防災を専門とし、これまで地質調査や測量を行う会社で、火山防災を中心とした職務に従事してきた。足もとにある大地から地域のことを見直し、風土にあった持続的な地域づくりをしようというジオパークの理念に共感し、現職に至る。現在は、研究員として専門家と地域をつなぐ役割を担っている。NHK「ブラタモリ」では熱海と伊豆の案内役として活躍。



## テーマ2 「ジオパーク教育とESD」

山本 隆太(静岡大学教職センター特任准教授／  
日本ジオパークネットワーク教育ワーキンググループリーダー)

愛知県日進市出身。早稲田大学教育学部助手、自由学園非常勤講師、静岡大学学術研究員を経て、平成30年4月より現職。平成27年、日本ジオパークネットワーク内に教育ワーキンググループを設立し、ジオパークの教育とESDの架橋を図ってきた。専門は地理教育、比較教育(日独)。

【主催】NPO法人 持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)

【お問合せ】E-mail: [jimukyoku@esd-j.org](mailto:jimukyoku@esd-j.org) TEL: 03-5834-2061

